釧路市立北中学校「学校だより」

北　魂

令和５年（2023年）７月31日発行　VOL 18

教師のもつ力

釧路市立北中学校長　冨　田　直　樹

NHK for School 公式アプリ 利用シーンはいろいろ！

✓先生が選んだ動画を授業で見る
✓調べ学習で映像百科事典として活用する
✓宿題のヒントを探して動画を見る
✓好奇心のおもむくまま動画を見る

「NHK for School」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは、2011年度より使用されている日本放送協会（NHK）の学校向けコンテンツの総称です。様々な教科等の指導場面を動画で視聴することができて、多くの学校でとても重宝されています。私もたまに視聴して、授業参観のフィードバックのネタにしたりしています。

国が進めたGIGAスクール構想の実現により、日本中の全ての児童生徒に端末が行き渡るようになって以来、「勉強系」動画の人気が高まっています。ネット環境が整っていれば、いつでもどこでも視聴できること、どの動画も発信者が明朗快活に、かつコンパクトに説明していることなどが視聴者にとって魅力となっているようです。

「勉強系」動画や教育関連企業が作製した学習コンテンツの評価が高まる一方、教職に対しては「過酷な職場環境」のイメージが定着し、教職志願者は激減、自治体同士による「教員獲得競争」が激化しています。2024年度に実施された北海道の公立学校の教員採用試験の競争倍率は、小学校が1.8倍、中学校が3.4倍となり、若干持ち直してはいるものの依然として低い競争倍率になっています。このような状況が続くと、学校での授業は個々の教員が行わずに、指導法のプロが行う授業動画か学習コンテンツを全面的に使用すべきであり、それにより教員の負担は軽減し、その先に待っているのは、教員数の大幅削減という厳しい未来かもしれません。果たして授業動画や学習コンテンツは万能なのでしょうか。

１学期に、第３学年の美術の授業を参観しました。生徒たちは「自画像」の完成を目指して黙々とスケッチブックに向かって鉛筆を走らせていました。ある男子生徒が手を止めて「鼻の部分に影を入れたいのですが、こんなやり方でいいですか」と教師に質問します。教師は「そうだね、でも見る視点を少しずらしてみると、その影の部分がどう見えるか確認してみたらいいよ」と助言します。男子生徒は「なるほど、そんな見方もありますね」と言って再び作業に没頭します。ある女子生徒は「もうできません」と諦めかけます。女子生徒の気持ちが落ち着いた頃を見計らって、「目の部分は特徴をよく捉えているよね。後ろの掲示板にちょうどよいモデルが貼ってあるから参考にしてごらん」と声を掛けます。女子生徒は穏やかな表情になり、モデルの自画像を真剣に見入っています。美術室は「学びの空気」に包まれ、その中で生徒たちが成長していく様子が見られました。

授業参観をしていると感じることがあります。本校の教師は、生徒たちの表情や態度から当該の生徒の心の状態を推測、考慮して日々の指導を行っている、ということです。これは、現段階において、授業動画や学習コンテンツだけを活用した学習では絶対にできない、複雑で貴重な「人としての力」だということです。多くの学者や研究者が、近未来において「なくなる仕事」や「残る仕事」を発表しています。「残る仕事」の中に、「教師」が示されていることを、本校の教師の姿から理解することができます。